

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

沖縄県知事 殿

譲受人 **東風平 太郎**
譲渡人 **具志頭 次郎**

申請人が法人の場合は代表者の役職・氏名まで記載

申請者が多数で、記載欄が不足する場合は別紙を作成

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

| | | | | | |
|----------------------------------|--|--|--|---|--|
| 1 申請人の住所等 | | 申請人の別 氏名 | | 住所 | |
| | | 譲受人 東風平 太郎 | | 八重瀬町字東風平〇〇番地 | |
| | | 譲渡人 具志頭 次郎 | | 八重瀬町字具志頭〇〇番地〇 | |
| 2 許可を受けようとする土地の所在等 | | 土地の登記事項証明書に記載された小字まで記載 | | 面積 (㎡) | |
| 市町村 大字 小字 | | 地番 登記簿 現況 | | 所有権以外の使用収益権が設定されている場合 権利の種類 権利者の氏名又は名称 | |
| 八重瀬町 〇〇 〇〇原 〇〇番〇 | | 畑 畑 | | 500 | |
| 筆数が多く、記載欄が不足する場合は別紙を作成 | | 欄に余白の行が発生する場合は「以下余白」と記載 | | 訂正不可 | |
| 計 500 ㎡ | | 計 500 ㎡ | | 採草放牧地 (㎡) | |
| 3 転用計画 | | (1) 転用の目的 | | なぜ転用が必要なのか具体的な理由、事情を記載(転用の必要性を確認するため)単に「〇〇の建築」等とするのは不適當 | |
| | | ● 1 一般住宅 | | 年数が決まっている場合は永年ではなく年数を記入 | |
| | | ○ 2 農家住宅 | | 工期ごとの計画を合計した面積等を記載 | |
| | | ○ 3 その他 (駐車場、資材置場等) | | | |
| (3) 事業の換業期間又は施設の利用期間 | | 建築面積と床面積は異なるので要注意 | | 和 年 月 許可日 から 永 年間 | |
| (4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要 | | 工事計画 | | 合計 | |
| | | 名称 棟数 建築面積 所要面積 | | 棟数 建築面積 所要面積 | |
| | | 土地造成 | | 500㎡ 500㎡ | |
| | | 建築物 住宅 1 300㎡ | | 1 300㎡ | |
| | | 工作物 | | | |
| | | 計 1 300㎡ 500㎡ | | 1 300㎡ 500㎡ | |
| 4 権利を移転又は設定しようとする契約の内容 | | 権利の種類 | | 権利の設定・移転の別 | |
| | | 使用貸借権 | | ● 設定 ○ 移転 | |
| | | 許可後 | | ○年間 | |
| 5 資金調達計画 | | 転用事業に必要な金額とその調達方法を記載(「〇〇銀行から借入」、「自己資金」等) ※土地の取得費も含めた総事業費用を記載すること。例: 土地〇円、建築費〇円、総事業費〇円 ※現況利用で資金不要の場合はその旨記載すること。 | | 申請人訂正欄 | |
| 6 転用により生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要 | | 単に「防除措置を行う」や「被害が発生した場合は適切に対応する」等の記載では不可。具体的な措置の概要を記載し、必要に応じて資料を添付。 | | 担当者確認欄 | |
| 7 その他参考となるべき事項 | | 申請地の農地以外で事業に一体利用する土地があれば、その土地の情報(地番、地目、面積等)を記載。仮換地中の土地であれば、換地後面積を記載。 | | 申請人は記入しない | |
| 沖縄県指令農第 号 | | 以下の事項は許可権者が記載します。申請時点ではなにも記載しないでください。知事名の記載も不 | | 申請人は記入しない | |
| 令和 年 月 日 | | 沖縄県知事 | | 許可権者訂正欄 | |
| 上記申請については、別添の条件を附して許可します。 | | | | 申請人は記入しない | |
| 【注意事項】【教示】裏面を読んでください。 | | | | 年 月 日 訂正、再交付 | |